

GARAX

<http://garax.jp>

GARAX


CAR SECURITY SYSTEM

HIACE REGIUSACE

STANDARD BODY/WIDE BODY

ギャラクス
カーセキュリティシステム
ハイエース/レジアスエース200系
標準ボディ/ワイドボディ共通

取付説明書






-  ご使用の前に、「お取り扱い上の注意」を必ずお読みいただき、安全にお使い下さい。
- ・取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
 - ・お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読み下さい。

この度は「GARAX CAR SECURITY SYSTEM」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

本製品は車両への強い衝撃やガラスの破損、ドアのこじ開け等の異常を監視し警告を行う装置です。本製品の動作の有無に関わらず発生した盗難やいたずら等による損害、および誤った取付や使用による事故、破損等の責任は一切負いかねますのでご了承下さい。

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

-  **危険** 取扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険性があると想定した事項。
-  **警告** 取扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険性があると想定した事項。あるいは、軽傷または、物的障害が発生する頻度が高い事項。
-  **注意** 取扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険性が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。
-  **禁止** 危険行為を示す記号です。この表示がしてある事項、行為は絶対に行わないで下さい。
-  **必ずお読み下さい** 強制・制約・指示等を示す記号です。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守り下さい。

目次

お取り扱い上の注意	2-3
GARAX CAR SECURITY SYSTEMのセット内容	3
GARAX CAR SECURITY SYSTEM各配線の接続	4
GARAX CAR SECURITY SYSTEM接続全体図	5
メインハーネス接続	6-7
送信機、スキャナーの取付け	8
サイレンの取付け	9
ショックセンサーの取付け	10
本体の取付け	11
ハザードカウントメモライズ設定方法	12
ディップスイッチの設定	13
基本的な使い方	14
システム作動／解除方法	14
リモコンについて	15-17
保証規定	18

安全上の注意

⚠ 警告

- ・配線・取付け作業中は、必ずバッテリーの(－)端子を外して下さい。バッテリーの(－)端子をつないだまま配線・取付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。
- ・エンジンルーム内に製品を取付けたままエンジン洗浄をしないで下さい。ショートを起こし、感電や機器が故障する可能性があります。
- ・本体及びオプション類の取付には正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行って下さい。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損・故障等が発生しても弊社では責任を一切負いかねます。知識のない方が取付を行うと、車両・システムの故障・損傷のみならず、人体にも危険がおよぶ可能性があります。
- ・弊社製品は故意に分解及び改造変更は絶対にしないで下さい。製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する可能性があります。また、分解及び改造変更を行った製品の保証は一切していません。

使用上の注意

⚠ 危険

本機はハイエース200系専用です。その他の車種及びDC24V車(大型トラック、寒冷地仕様ディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

⚠ 注意

- ・テストの際はガラスやボディー等が破損しない様に十分注意して下さい。弊社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- ・本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合は特にご注意下さい。
- ・本製品のチャープ音・サイレン音は防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音等にならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切な感度にてご使用下さい。
- ・本製品に過度の衝撃や振動は加えないで下さい。
- ・本製品は防水仕様ではないため、内部に水や油等が絶対浸入しないようご注意下さい。
- ・リモコンは落としてたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないで下さい。
- ・リモコンは防水仕様ではありませんので、水がかかる場所での保管や使用はしないで下さい。又、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないで下さい。
- ・持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意して下さい。
- ・同梱のリモコン用電池は製品テスト用電池のためご購入後の使用できる期間に差があります。予めご了承下さい。電池が消耗している場合には、新しい電池をお買い求め下さい。

❗ 必ずお読み下さい

- ・本製品のショックセンサーは取付ける位置によって感度が大きく変わります。
- ・本製品の作動の有無に関わらず、車両盗難、車上荒らし等が発生しても弊社では責任を一切負いかねますのでご了承下さい。
- ・万一本製品に関連する不具合が発生した場合、不具合部位に対する補償は致しますが、車両自体の補償は致しかねます。
- ・弊社では製品の検査依頼及び修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、検査依頼及び修理時に発生した工賃等の諸費用は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承下さい。
- ・本製品はアナログ制御になります。デジタル多重通信線への接続はできません。接続をした場合は本製品のみならず、車両の機器を破壊する可能性があります。

🚫 禁止

- ・送信機には日本の電波法に基づく技術適合ラベルが貼ってあります。このラベルをはがして使用する事は、法律により禁じられております。
- ・本製品は日本の電波法に適合しております。海外での使用は、違法となる場合がありますので使用しないで下さい。

取付けに関する注意

⚠ 警告

- ・エアバッグ (SRS) 装備車、ボディコンピュータ、その他特殊な装置を装備している場合にはバッテリーの配線やヒューズを抜く等して電源供給を止めないように留意して下さい。電源が切断されると車両側が故障し機能なくなる場合があります。また、誤作動により人身事故につながる可能性があります。
- ・本体及びオプション製品等の取付けの際は必ずエンジンを停止して換気のよい場所で行って下さい。排気ガスが充満して危険です。
- ・各部品をパネル等に取付けの際は、他の機器に影響を与えない場所に設置して下さい。特に駆動部やブレーキパイプ・ホース類には設置しないで下さい。
- ・必ず正しい取付け、配線を行って下さい。取付け及び配線を誤ると、車両の装置・機器類を破損あるいは損傷する可能性があります。
- ・本体やオプション製品を水・湿気・熱・湯気・ほこり・油等の多い場所に保管・設置しないで下さい。火災・感電・故障等により死亡や大けがををする可能性があります。

🚫 禁止

サイレンをエンジンルームに取付ける場合は、上向きに取付けしないで下さい。スピーカー一面は必ず下向きに設置し、内部に水や油等が絶対侵入しないように注意して下さい。上向きに設置すると水分等の浸入により故障の原因になります。

⚠ 注意

- ・本体から各種オプション部品配線・接続を行った場合には保護のため貫通口に必ずゴムブッシュ等を使用して下さい。又、電線保護のためコルゲートチューブ (コンジットチューブ) 等をご使用下さい。
- ・SRSエアバッグや盗難防止機能付ラジオを装備した多くの車両はバッテリーが外されたことをメモリーする機能を有しています。このメモリー状態を解除する場合は専用のIDコードが必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できなくなる事があります。
- ・すべての配線を接続しない場合、作動しない機能もあります。
- ・取付け終了後、必ず取付をした機能のすべてをテストして下さい。
- ・車両のバッテリーが弱まっている場合等、車両本来の機能に不備がある場合には、システムが正常に作動しない事があります。常に車両の整備が行き届いた状態で取付けを行って下さい。
- ・使用しない配線は必ず絶縁処理を行って下さい。
- ・エンジンルームから車内へ配線を通す際は、車内への水分等の浸入を防ぐため、貫通口付近の防水処理を確実に行って下さい。

セット内容

本体×1	サイレン×1	ショックセンサー×1	メインハーネス×1
ショックセンサー用ハーネス×1		ドアセンサー用ハーネス×1	スキャナー×1
本体用ブラケット×1		サイレン用ブラケット×1	送信機×1
リモコン×1	クリップ×1	エレクトロタップ×7	電池 (CR-2032) ×2
両面テープ×1	ボルト (M4) ×4	ボルト (M6) ×2	ナット (M4) ×4
ナット (M6) ×2	ワッシャー×4	結束バンド×20	クワ型端子×1
ストラップ×1	取扱い説明書 (本書) ×1		

ハーネスをそれぞれの接続先へ接続して下さい。各配線との接続はエレクトロタップでも可能ですが、誤信号を無くす為にはハンタ付けすることをお勧め致します。

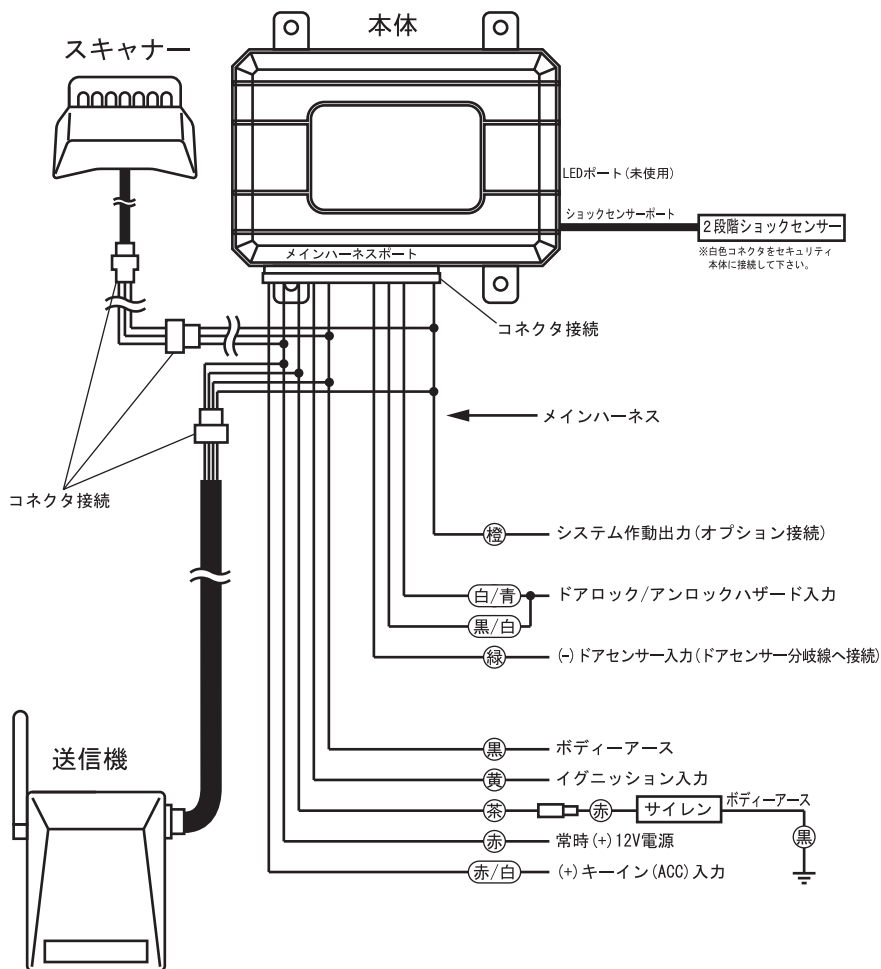
本体メインハーネス

	名称	配線色	接続先
①	(+) キーイン (ACC) 入力	赤/白	ACCの出力線に接続
②	(+) 常時12V電源	赤	常時12V電源線に接続
③	(+) サイレン出力	茶	サイレンの赤線に接続
④	(+) イグニッション入力	黄	イグニッションONの出力線に接続
⑤	(-) ボディアース	黒	ボディアースに接続
⑥	(-) ドアセンサー入力	緑	ドアを開けた時アースへ落ちる線に接続
⑦	(+) ドアロック・アンロックハザード入力	白/青	ウィンカー(+)に接続
⑧	(-) システム作動出力	橙	オプション接続

※サイレンをエンジンルーム内に取付けてから接続して下さい。

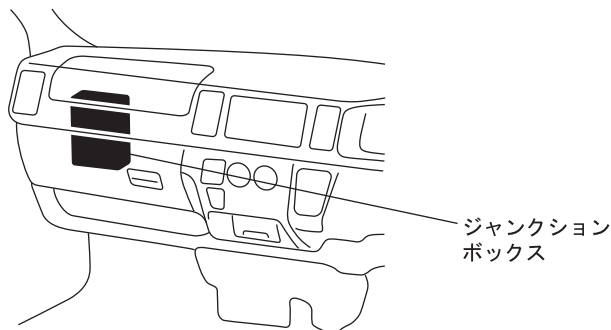
⚠ 注意

使用しない配線は絶縁処理して下さい。



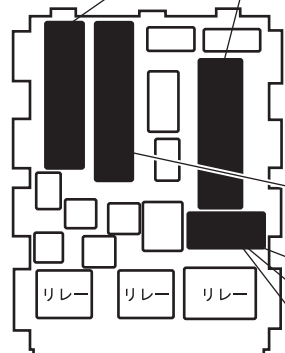
助手席周り

※接続箇所はグレードや年式により線色、位置が変わる事があります。検電テスター等で信号を確認してから接続して下さい。



※グローブボックスを外して作業を行って下さい

- ⑥ ドアセンサー入力線を
30 P 白コネクタ 白線(両側リアドア+バックドア)、
32 P 白コネクタ 赤/緑線(運転席ドア+助手席ドア)へ接続
白線 ← 3本未使用
赤/緑線 ← へ接続



ドアセンサー分岐線
ギボシ接続 ⑥

- ⑦ ドアロック・アンロックハザード入力線を
36 P 白コネクタ 青/赤線へ接続

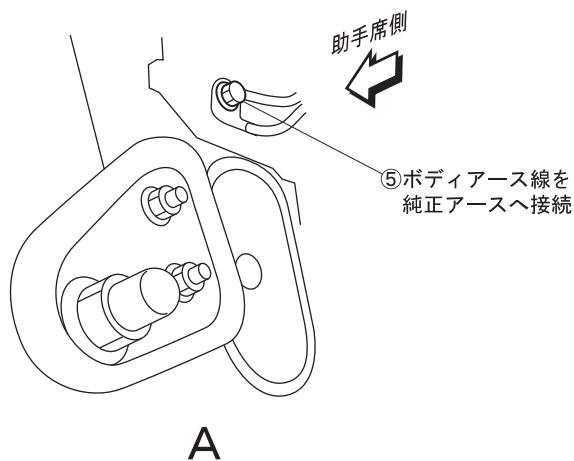
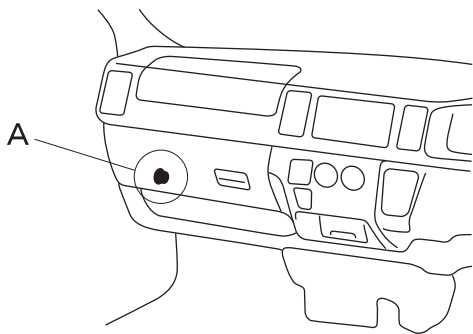
- ① キーイン(ACC)入力線を
8 P 白コネクタ 赤/黒線へ接続

- ② 常時12V電源線を
8 P 白コネクタ 白/青線へ接続

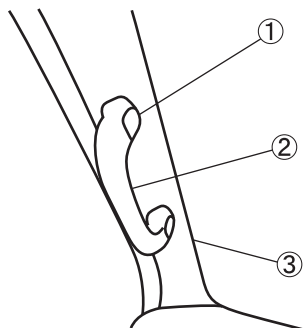
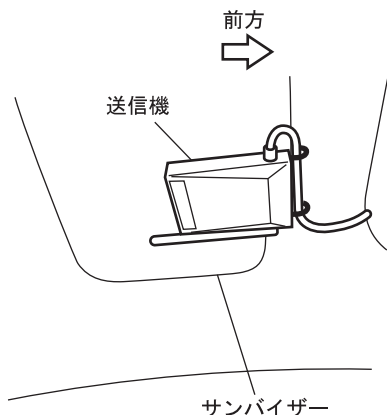
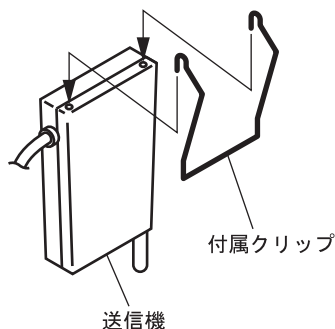
- ④ イグニッション入力線を
8 P 白コネクタ 黒/黄線へ接続

〈ジャンクションボックス詳細〉

助手席周り

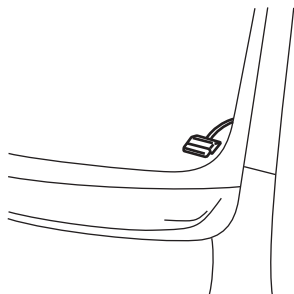


1. 送信機に付属クリップを取付けて下さい。
2. 助手席側サンバイザーを挟むように送信機を固定して下さい。
3. ピラーカバーの裏に送信機のハーネスを通すので、①ピラー部アシストグリップのカバーを外して下さい。
4. ボルトを外し、②アシストグリップを外して下さい。
5. ③ピラーカバーを外して下さい。
6. 送信機のハーネスをピラーに沿わせて、コネクタをメインハーネスから分岐しているコネクタに接続して下さい。

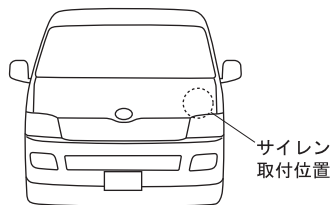


スキャナーの取付

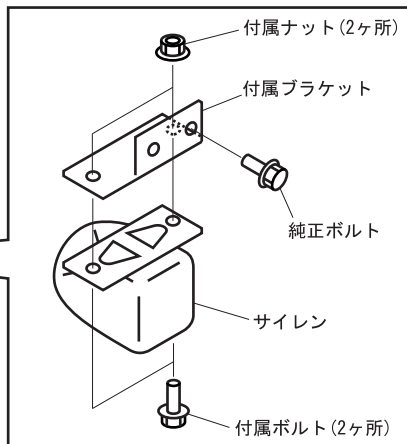
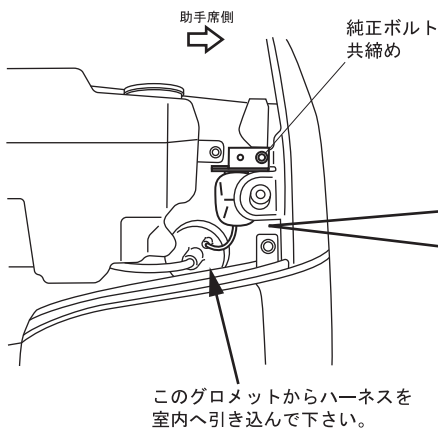
1. スキャナー裏面の両面テープを使用して、車両外側から見えやすい位置(助手席ダッシュボード前方等)にスキャナーを固定して下さい。
2. スキャナーのコネクタをメインハーネスから分岐しているコネクタに接続して下さい。
3. ピラーカバー、アシストグリップ等を元通り取付けて下さい。



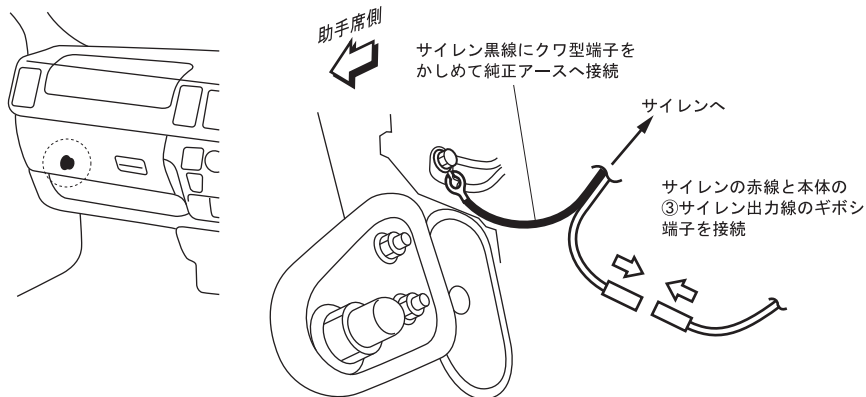
1. エンジンルーム内、図の位置の純正ボルトを外して共締めします。
2. 図の位置に付属ボルト、ナット、ブラケットを使用してサイレンを固定して下さい。(下图参照)
3. サイレンのハーネスを図のグロメットから室内に引き込んで下さい。
4. 室内でサイレン赤線とメインハーネスの③サイレン出力線のギボシ端子を接続して下さい。
5. サイレンの黒線にクワ型端子をかきしめて、ボディアースへ接続して下さい。



<サイレン本体の設置>



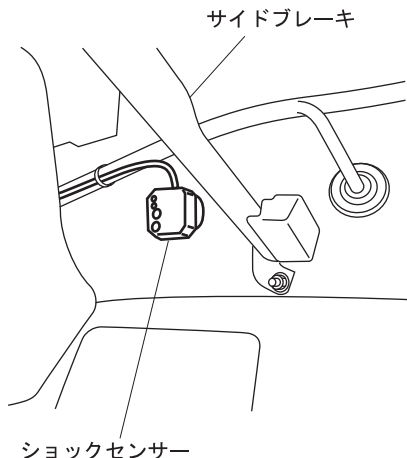
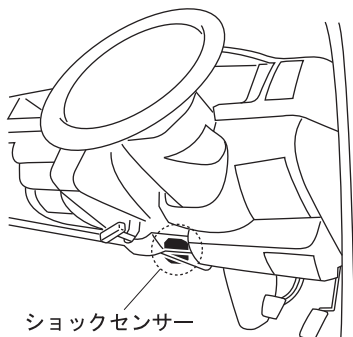
<配線の接続>



ショックセンサーの設置

※下記はショックセンサー設置場所の一例です。

1. サイドブレーキ根元付近のボディ平面部を脱脂・洗浄して下さい。
2. ショックセンサーを付属両面テープを使用してボディ平面部に固定して下さい。
3. 本体ショックセンサーポートにショックセンサーハーネスを接続して下さい。



ショックセンサーの感度調整

強・弱 別々に感度調整が出来ます。

※2段階ショックセンサーの感度調整はボリュームを時計方向に回すと感度が敏感になります。

※感度は敏感にするほど様々な外的要因で犯罪時以外でも発報する場合があります。適切な感度に設定の上ご使用下さい。



⚠ 注意

※設置場所は一例です、取付け位置によって感度が変わります。

※図の場所が推奨位置ですが車両全長が長いので後方までは感知できない可能性があります。

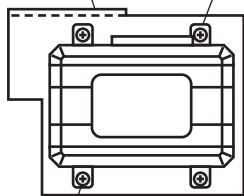
※後方をメインに感知させたい場合はショックセンサーを車両後方に設置して下さい。

オプション ショックセンサーを追加して、車両前方と後方の感度を上げることも可能です。

1. 本体を付属ボルト、ナット、ワッシャで付属ブラケットに固定して下さい。
2. メインハーネスを本体のメインハーネスポートに接続して下さい。
3. グローブボックス下の純正ナットを使用してブラケットを共締めして下さい。
4. 付属結束バンドを使用し、ハーネスを適宜まとめて下さい。

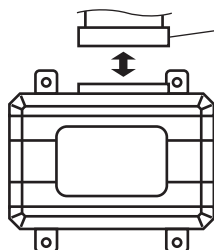
付属ブラケット

本体



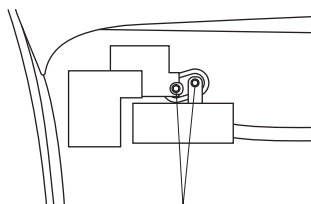
付属M4ボルト、ナット、ワッシャ(各4ヶ所)

メインハーネス



本体

グローブボックス

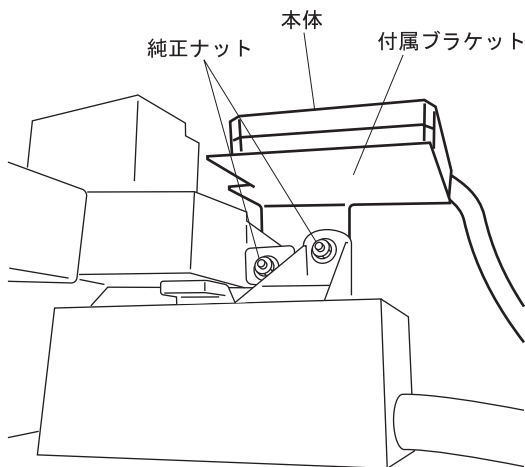


この純正ナットを利用してブラケットを共締めします。

純正ナット

本体

付属ブラケット



この製品はロック/アンロック時にハザード点滅する回数でセキュリティのON/OFFを行います。出荷時の設定はロック時1回、アンロック時2回のハザード点滅回数をメモリーしてあります。ロック・アンロック時のハザード点滅が出荷時の設定と違う場合はこの設定を行って下さい。設定変更には必ずドアセンサー線の接続が必要です。下記の方法で設定を行って下さい。

(+) キーイン入力(赤/白線)をACCに接続している場合

1. 車両のドアを開けます。
2. 鍵をキーシリンダーに挿入します。
3. 鍵をACC ⇒ OFF ⇒ ACC ⇒ OFF ⇒ イグニッションON ⇒ ACC ⇒ 1秒位待ってからOFFの順に回します。
この動作を3秒以内に行ってください。最後のOFFの時にチャープ音が1回鳴ります。
4. 鍵を抜き、ドアを閉めるとチャープ音が再び1回鳴ります。
5. 4秒以内にリモコンキーレスでドアをロックすると、ハザードが点滅し、4秒後チャープ音が1回鳴ります。
※4秒以内にロック信号がない場合、短いサイレン音が10回鳴り設定が終了します。
この場合、設定を最初からやり直して下さい。
6. 4秒以内にリモコンキーレスでドアをアンロックすると、ハザードが点滅し、4秒後チャープ音が2回鳴り設定が完了します。
※4秒以内にアンロック信号がない場合、短いサイレン音が10回鳴り設定が終了します。この場合、設定を最初からやり直して下さい。

(-) キーイン入力(赤/白線)を接続している場合

1. 車両のドアを開けます。
2. 鍵をキーシリンダーに「挿入 ⇒ 抜く ⇒ 挿入 ⇒ 抜く ⇒ 挿入 ⇒ イグニッションONまで回す ⇒ OFF ⇒ 1秒位待ってから抜く」の順に行います。
この動作を各3秒以内に行ってください。最後に鍵を抜いた時にチャープ音が1回鳴ります。
3. ドアを閉めるとチャープ音が再び1回鳴ります。
4. 4秒以内にリモコンキーレスでドアをロックすると、ハザードが点滅し、4秒後チャープ音が1回鳴ります。
※4秒以内にロック信号がない場合、短いサイレン音が10回鳴り設定が終了します。
この場合、設定を最初からやり直して下さい。
5. 4秒以内にリモコンキーレスでドアをアンロックすると、ハザードが点滅し、4秒後チャープ音が2回鳴り設定が完了します。
※4秒以内にアンロック信号がない場合、短いサイレン音が10回鳴り設定が終了します。この場合、設定を最初からやり直して下さい。

⚠ 注意

- ・設定が上手く出来ない場合は、メインハーネスを5秒ほど抜いて、再度差し込んでからやり直して下さい。
- ・設定を途中でやめた場合、前の設定の状態になります。

※下線の引いてある方が工場出荷時の設定です。

ディップスイッチ機能			
SW NO.	機能	↓ ON	↑ OFF
SW1	エンジンスタータ併用	IG検知OFF	<u>IG検知ON</u>
SW2	エンジン始動ハザード	あり	<u>なし</u>
SW3	サイレン発報時間設定	60秒	<u>30秒</u>
SW4	リアーム機能	ON	<u>OFF</u>
SW5	未使用 (OFFで使用して下さい)	ON	<u>OFF</u>
SW6	チャープ音	<u>ON</u>	OFF

※ディップスイッチの設定変更はセキュリティ解除の状態で行って下さい。
又、ディップスイッチ設定変更時はメインハーネスを抜いて行うようにして下さい。

SW1 (エンジンスタータ併用)

エンジンスタータを併用する場合“ON”にします。ON設定の場合は警戒中にイグニッションONセンサーは作動していません。

※この設定の場合、イグニッション入力線(黄)をエンジンスタータ使用時に+12V供給される線に接続して下さい。又、エンジンスタータ使用中はショックセンサーがスリープモードとなり、反応しませんが、エンジン停止後自動復帰します。

※本製品はハザード点滅でロック・アンロックを認識しますので、エンジンスタータ使用時には一度エンジンをストップさせてからキーレスでアンロックして下さい。

SW2 (エンジン始動ハザード)

ライトフラッシュ線(白)を接続時、警戒中にリモコンエンジンスタータでエンジンを始動すると、アイドリング中のライトフラッシュを点滅させる事ができます。

SW3 (サイレン発報時間設定)

強ショックセンサーとドアセンサー、イグニッションONセンサーの反応時、サイレン発報時間を30秒と60秒から選択できます。

SW4 (リアーム機能)

リモコンキーレスでドアをアンロックしてセキュリティを解除してもドアを開けない限り、35秒後にセキュリティを再作動して防犯に役立てる機能です。

※アンロック時ドアを開けなくてもルームランプが点灯する車両の場合、ドアセンサー線の接続の場所によっては、リアーム機能が動作しない場合があります。

※この設定を行わなくても車両側で自動的にリロックし、ハザードが点灯する車両ではセキュリティも再作動します。

SW6 (チャープ音切替)

ロック・アンロック時のチャープ音の有無の切替ができます。

※この設定をOFFにしてもセンサーのチャープ音は鳴ります。

システムを作動させる

リモコンキーレスでドアをロックして下さい。ハザードアンサーバックが点滅してから1.5秒後にチャープ音が1回鳴り、さらに5秒後にシステム作動状態になります。

⚠ 注意

- ・リモコンキーレスでドアをロック後、再びドアをアンロックする場合は2秒以上経過してから行って下さい。
- ・トランクオープナーを使用する場合はシステムを解除してから使用して下さい。
- ・ハザード点滅中はシステムの作動はしません。

システムを解除する

リモコンキーレスでドアをアンロックして下さい。ハザードアンサーバックが点滅してから1.5秒後にチャープ音が2回鳴り、解除します。

⚠ 注意

- ・リモコンキーレスでドアをアンロック後、再びドアをロックする場合は2秒以上経過してから行って下さい。
- ・イグニッションセンサー・ショックセンサーでの警報を止める場合はこの方法で行います。

強制解除(リモコンキーレスで解除できない場合)

ドアを開け、鍵をキーシリンダーに挿入しサイレン音がチャープ音に変わってからキーを抜きます。(チャープ音の状態で作動して下さい。)

※(+)キーイン入力線(赤/白)をACCに接続の場合は、鍵をACCまで回し、その後OFFまで戻して下さい。

⚠ 注意

- ・ドアセンサーで反応した場合は通常のシステム解除はできませんのでこの方法で警報を止めます。

セキュリティを作動させないでドアをロックするには

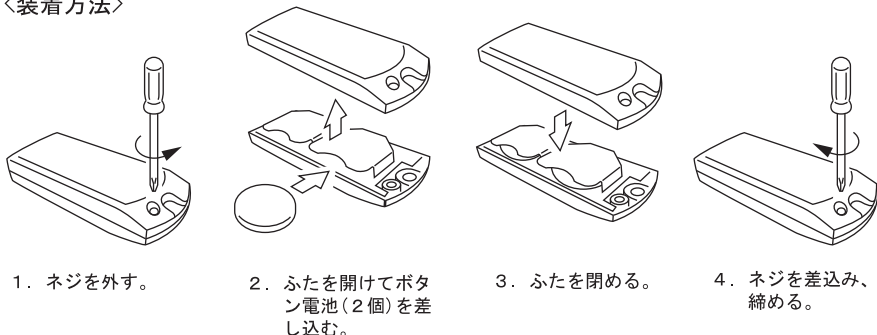
下記のいずれかの方法で行って下さい。

- ①リモコンキーレスを使用しないで、鍵をドアのキーシリンダーに差込み、鍵を回してロックさせます。
- ②リモコンキーレスで「ロック⇒アンロック⇒ロック」と続けて行って下さい。

リモコン用電池の装着・交換

本製品はコイン型リチウム電池 (CR-2032) を 2 個使用します。初めて本製品をご使用になる場合は、同梱の電池をリモコンに装着して下さい。

<装着方法>



<リモコン用電池の交換時期>

- ・リモコンの LED が 2 回点滅と同時に、リモコン電池切れ警告音 (ピピッピッ) が鳴るようになったら交換時期です。

<リモコン用電池について>

- ・コイン型リチウム電池 (CR-2032 × 2) は家電量販店、コンビニエンスストアでご購入頂けます。

⚠ 必ずお読み下さい

- ・交換した使用済み電池は、ショートしないようテープ等を電池の + 極と - 極に別々に貼付け絶縁処理をして下さい。また、電池を破棄する場合は自治体の条例などに従って下さい。

リモコン通信確認について

配線の接続が完了した際、リモコンにアンサーバックが来る事を確認して下さい。

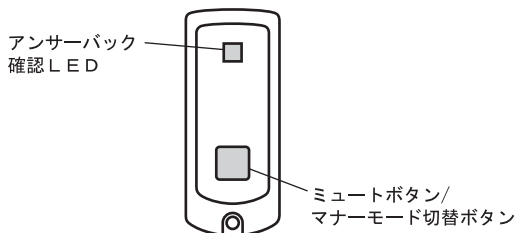
1. セキュリティを ON させます。
2. 車両を揺らす等して、サイレンを発報させます。
3. リモコンにアンサーバックが来てれば通信ができています。

⚠ 注意

- ・リモコンへの送信は、10 秒間連続送信と 30 秒間休止を 10 回繰り返します。(17 ページ参照)
- ・リモコン通信及び飛距離の確認はこの間に行ってください。
- ・サイレンは約 1 秒間発報させれば作動しますが騒音等をご配慮の上、通信確認をして下さい。

リモコンについて

カーセキュリティシステムに異常が発生した事を確認する事ができます。



⚠ 注意

- ・即座に反応がない場合でも、リモコンのボタンを押し続けたり、強く何度も押したりすると故障の原因になります。
- ・周囲に強い電磁場や高圧線及び高い建造物等がある場合、受信可能範囲が狭くなるときがあります。
- ・消耗品の補償は対象外となります。電池が消耗している場合は新しい電池と交換して下さい。
- ・同梱されているリモコンの電池は、製品テスト用に使用する目的のため、電池寿命を保証するものではありません。

マナーモード機能について

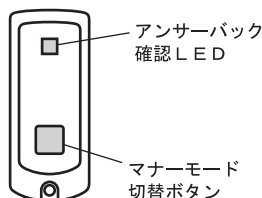
サイレンが発報した時にリモコンへのお知らせをバイブレーションとLED点滅のみにする事ができます。

【マナーモードへの切替】

1. リモコンのマナーモード切替ボタンを2秒間押し続けます。
2. マナーモードがONとなり、バイブレーションが作動しLEDが点滅します。

【マナーモード解除方法】

1. リモコンのマナーモード切替ボタンを2秒間押し続けます。
2. マナーモードOFFとなり、ブザーが“ピー”と鳴りLEDが点滅します。



⚠ 注意

アンサーバックを受信している場合、マナーモードの切替ができません。

アンサーバック機能について

カーセキュリティシステムに異常が発生しサイレンが発報した事を知らせてくれます。

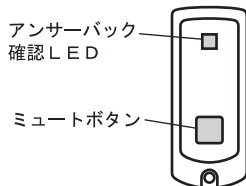
サイレン入力反応時の動作について

システム作動中サイレンまたはセンサー入力が反応した場合、リモコンへデータを送信します。送信時間は下記を参照して下さい。



※10秒間連続送信と30秒間休止を10回繰り返します。送信中であっても、システムが解除された時点で停止します。

データ受信時のリモコン動作について(マナーモードOFF時)



1. 本体からのデータ受信時、リモコンからブザー音が5回鳴り、アンサーバック確認LEDが5回点滅します。同時にバイブレーションでも知らせます。この動作を5回繰り返した後、ミュートボタンが押されるまでアンサーバック確認LEDが3回点滅します。この時、本体から再度送信データがあった場合でもリモコンは受信しません。
2. 本体からのデータ受信中に、リモコンのミュートボタンでブザー音とアンサーバック確認LED及びバイブレーションを止める事ができます。しかし、上記の通り10秒間連続送信と30秒間休止を10回繰り返すため、再度本体からのデータを受信し、リモコンからブザー音が5回鳴り、アンサーバック確認LEDが5回点滅し、バイブレーションが作動します。

リモコン電池切れ警告機能について

リモコン電池がなくなりそうな時に、リモコンからブザー音2回が鳴り、アンサーバック確認LEDが2回点滅します。

△ 注意

マナーモードON設定時(アンサーバック・リモコン電池切れ警告機能)には、ブザーは鳴りません。

●お客様へ

保証書の各記入事項欄に欠落、または無記入欄のある保証書は無効となりますので、お買い求め頂いてから未記入欄があった場合は直ちに販売店へお申し付け下さい。なお、保証書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

●販売店様へ

本保証書は販売当日より有効となります。必ずお買い上げ日、貴販売店名、住所、電話番号をご記入後お客様にお渡し下さい。なお、お渡しするにあたりシリアル番号のシールが同梱されておりますので、保証書、および本体に貼ってからお渡し下さいますようお願い致します。本書は正規に作成されて効力を発揮するものです。不正と判断した場合は保証書の効力が無くなります。

保証規定

1. 本製品は高度な品質管理の下販売をしておりますが、故障した場合は保証規定に基づいて無料修理致します。
2. 本製品は基本的に持ち込み修理となっておりますが、宅配便等で販売店に送付される際はお客様のご負担をお願い致します。
3. 保証書の無いもの、各記入事項欄に欠落、または無記入欄のある保証書は無効となりますので、保証対象外とさせていただきます。
4. 保証内であっても次に当てはまる場合は有償修理になります。
 - 取り付けの不備による故障、損傷等
 - 12V車以外で使用した場合
 - 不正改造等による故障、損傷等
 - 天災(地震、落雷、火災、水害等)等による故障、損傷
 - 交通事故による故障、損傷
 - 業務用に使用した場合
 - 消耗品等の損傷、またはそれによる故障
 - 設定不備による誤作動での故障、損傷
 - 説明書の注意点に従って使用しなかった場合
 - 本製品以外の他社製品(オプション品)等の取り付けによる故障、損傷
 - 修理に伴う脱着作業およびその他の作業
 - 故意的に破損させたり故障させた場合
 - 盗難による破損、または故障
 - その他正規でない使用および取り付け方法での故障、破損
5. この保証規定は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.) この保証書は上記の規定に基づき、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証規定により法律上の権利を制限するものではありません。保証修理期間外は有償修理にて承ります。但し、仕様変更、ネーミング変更を予告なく行う事があり、よってお買い上げ6年以上経ってしまったものは部品供給ができない場合があります。また、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店へお問い合わせ下さい。

製品保証書

この保証書は裏面の規定に基づき、保証修理をお約束するものです。
この保証書を紛失しないように、また汚さないように大切に保管して下さい。
この保証書がないと保証修理は致しかねます。
詳しくは裏面「保証規定」をお読み下さい。

品 名	GARAX CAR SECURITY SYSTEM	品 番	GG-001-HI
お買い上げ日	年 月 日	お買い上げ日より1年間	
製品シリアル番号			
ここに貼して下さい			
お客様情報	ご氏名		
	ご住所		
	電話番号		
販売店			

※保証書を使用する場合は本書の切取線から切り離して使用して下さい。コピーは不可です。必ず製品シリアル番号シールが貼られている事が条件になります。



発売元：ケースベック・エレクトロニクス株式会社
<http://garax.jp>